

祝

ひめじ大河ドラマ館おーぶん

かわら版

Vol.1

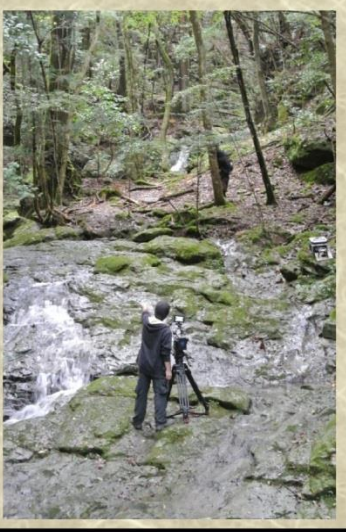
＜発行＞姫路フィルムコミッション
TEL:079・287・3653

待ちに待った姫路の官兵衛を描いた大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送が始まりました。このかわら版では、撮影最前線にいた姫路フィルムコミッションが、官兵衛の撮影裏話を織り交ぜながらロケ地情報をお届けします。
＜こゝでは、記念すべき第一話の本編とオープニングに登場するロケ地を紹介しします。オープニング映像の大半は、ここ播磨地方で撮影が行われています。官兵衛が生まれ育った播磨の地で撮影したという監督の熱い思いでロケ地探しが始まりました。なかでも、官兵衛のイメージに合った滝のロケーションを探すのは至難の業で、姫路をはじめ播磨中の滝や森林を巡って、ようやくイメージに合ったロケ地に辿りつきました。是非とも、撮影現場の息遣いを感じながら放送をお楽しみください。また、皆様自身でも、官兵衛が駆け抜けた古の播磨の美しい風景に思いを馳せながら、ロケ地を訪れてみてはいかがでしょうか。＞

姫路市・安富町

鹿ヶ壺

姫路市の北西にある安富町の鹿ヶ壺は、渓谷の岩床が浸食されてきた大小十数個からなる滝壺で兵庫県の名勝にも指定されています。
今回はその滝壺の上流の渓流で撮影が行われました。オープニングでは、岡田さん扮する官兵衛のCG映像と複雑な木々が織りなす幻想的な風景により一層神秘的で感動を誘うシーンとなりました。



(住所) 姫路市安富町関
(お問合せ先) 姫路市立グリーンステーション鹿ヶ壺
0790・66・3505

オープニングに注目!

佐用町

飛龍の滝

飛龍の滝での撮影は、姫路フィルムコミッションも佐用町役場の方と共に立会いました。
この場所での課題は、水量。
自然相手のロケーションは、こちらの思う通りにはならない為、指をくわえて待つしかないのです。そこで、佐用町役場の方をはじめ、水利組合の方のご協力で溜池からの水量を調整し、この日だけ大河仕様に水量を調整することに見事成功。
又、夕暮れから朝日の様子を撮影したいという要望に応える為、徹夜で撮影を行いました。
今、注目を浴びているプロジェクトオープンマッピング(壁に投影する技法)を使用し、オープニングでは華やかな滝が演出されています。
この飛龍の滝は、監督も官兵衛の強くて優しい秀團気にピッタリだとおっしゃっていました。



(住所) 佐用町榎田字滝谷
(お問合せ先) 佐用町商工観光課
0790・82・0670

宍粟市 赤西溪谷

宍粟市は、秀吉による播磨平定の際、官兵衛の戦功が認められ与えられた初の知行地です。
その際、篠ノ丸城を居城としていたといわれており、大名となってから初めて入った城です。
撮影は早朝の朝日が差し込む時間帯を狙って、渓流を中心に行われました。
姫路の鹿ヶ壺のシンの後に流れる美しい水の寄り画がそのシーンです。



(住所) 宍粟市波賀町原
(お問合せ先) 宍粟市環境観光課
0790・63・3127

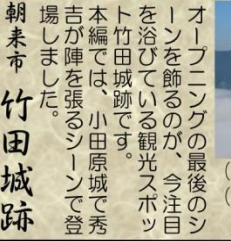
そのほかにも...

神河町 砥峰高原

オープニングでは、官兵衛が乗っていた馬が単身で駆け出すシーンで使用されました。さらに本編では、剣の稽古で逃げ出す万吉を武兵衛が追いかけるシーンとしても登場。



(住所) 神崎郡神河町川上
(お問合せ先) 神河町地域振興課
0790・34・0971



(住所) 朝来市和田山町竹田
(お問合せ先) 情報館 天空の城
079・674・2120

オープニングの最後のシーンを浴びている観光スポット竹田城跡です。
本編では、小田原城で秀吉が陣を張るシーンで登場しました。

朝来市 竹田城跡

本編にて登場!

姫路市 広峯神社

まさに黒田家の礎を築いたゆかりの地である広峯神社では、五穀豊穣を願って拜殿で農民が参詣するシーンと御師が広峯神社の門から石段を降りるシーンを撮影。
農民に扮する衣装で市民エキストラ3人が参加しました。
顔や足の裏まで泥を塗って撮影に挑んでいました。
ここでも官兵衛ゆかりの地そのもので撮影をしたいというスタッフの想いで撮影が決まりました。



(住所) 姫路市広嶺山
(お問合せ先) 広峯神社
079・288・4777

ロケ地まっぴ

QRコードを読み取ってください。



織田軍VS毛利軍

ひめじ大河ドラマ館

かわら版

Vol.2

<発行>姫路フィルムコミッション
TEL:079・287・3653

<放送回>
第9回 平成26年3月2日(日)
第10回 3月9日(日)

ロケ地まっぴ

亀山本徳寺



QRコードを読み取って下さい。
(住所) 姫路市亀山324
(お問合せ先) 亀山本徳寺
079・235・0242

亀山本徳寺の
暑い一日に密着



支度場所は市役所北にある別館アンドーナ。集まった姫路フィルムコミッションのエキストラは32名。



映画やドラマの撮影に欠かせないアイテム「グリーンバック」。撮影した数十人の兵隊をコピーし、1000人に増やします。放送をチェックしてみてください。



お寺の中は、一向宗の本山・石山本願寺として使用。ここでは、頭如が門徒と本尊に向かって念仏を唱えるシーンを撮影。天台宗・圓教寺の協力で、お坊さんのエキストラも参加し、カンペを見ながら違う宗派のお経を読む歴史的なコラボレーションが実現しました。



撮影に使用したお供え物の野菜たち。記念に参加したエキストラさんにプレゼント！満面の笑みで野菜を抱える皆様。暑い中本当にお疲れ様でした～！



男性エキストラは武士門徒役に、女性エキストラは侍女門徒・町民門徒・農民門徒・子供門徒の4パターンの役に扮しました。



お寺の前を英賀御堂のシーンとして撮影。



菅原祥子さんの福島リナさん・中村映里子さんが出演



演出について丁寧に指示を出しているのは本木監督。監督自ら走って演技指導に行く場面も！！監督たちのワンシーンことに込める想いもひとしおです。



当時のお供え物として揃えられた野菜たち。この野菜は撮影当日に急遽、姫路の市場でトラック1台分調達しました。

一向宗門徒が続々と集結！
英賀御堂・石山本願寺のシーンと、
姫路市亀山にある亀山本徳寺では、
毛利軍の大將・浦宗勝が英賀御堂で本陣を構えるシーンと、
石山本願寺で信長と戦うために門徒が集結するシーンが
撮影されました。

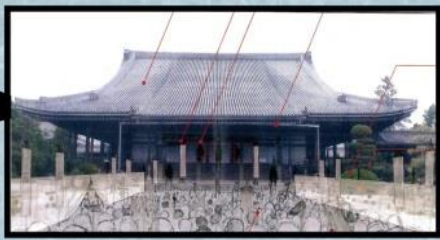


本願寺第11代法主・頭如役 眞島秀和さんと僧侶たち。

デザインコンセプト

- ・ 姫路における一向門徒の拠点
- ・ 圧倒的な強大な力 軍勢
- ・ 毛利軍と結束
- ・ 反織田
- ・ レジスタンス
- ・ 死をも恐れぬ信仰心
- ・ 極楽浄土
- ・ 南無阿弥陀仏
- ・ 浄土真宗

英賀御堂シーンイメージ図



セッティング後



シーン④



帳面を手にてきぱきと仕事をこなしている三成。

※圓教寺で撮影したシーンを④つに分けてお届けします。

シーン①



石田三成の働きぶりに感心して声をかける官兵衛。

シーン③



三成の指揮で本陣づくりにいそんでいる兵士たち。

シーン②



官兵衛と半兵衛がお堂の縁を歩きながら上月城について語り合う。

中国攻めを進める秀吉軍。
官兵衛の進言で書写山に陣を移す！

ひめじ大河ドラマ館

かわら版

Vol.3

官兵衛 × 半兵衛 × 三成 in 書写山圓教寺

<発行>姫路フィルムコミッション
TEL:079・287・3653

<放送回>
第16回 平成26年4月20日(日)
第17回 4月27日(日)

気温は30度まで上昇!

官兵衛・半兵衛・三成の登場で姫路で一番熱い場所となった!



食堂2階からの様子。下では石田三成たちが本陣づくりをしているシーンを演出中。当時、官兵衛たちにはこのように見えていたのかもしれない…。



多くの軍勢が走る様子を表現するために、ほうきで砂埃を演出。



エキストラのほどけた紐を結ぶ小道具さん。

姫路エキストラ 37名 + 馬6頭参加!



多くの記者が注目!

岡田准一さん・谷原章介さん・田中圭さんを囲んだ記者会見。



秀吉軍の旗を担いで、出陣(撮影本番)を待つエキストラ。



OKカットがかかるまで、馬もジッと待機!

圓教寺お手製ロケ弁

腹が減っては戦はできぬ!

軍師官兵衛、姫路での最大のロケ地となった書写山圓教寺での撮影は、準備から撤去までまる3日間かかりました。9月の気温は朝と昼と寒暖差が激しく、スタツプの体力を奪っていきます。慣れない甲冑を着た姫路フィルムコミッションのエキストラさんも一生懸命演じていました。主演の岡田准一さんは、ご縁があるのか圓教寺での撮影は2度目。前回は、映画「天地明察」で撮影にきていました。実際に秀吉軍が陣を張ったゆかりの地をそのままのロケ地として撮影してもらえることは滅多とない幸運です。姫路のフィルム史に名の残る作品の一つになったと思います。

撮影の裏側では、
いろんなドラマが繰り広げられていた!

もうひとつの物語り
another
story

ひめじ大河ドラマ館

かわら版

Vol.4

<発行>姫路フィルムコミッション
TEL:079・287・3653

<敬送回>
第16回 平成26年4月20日(日)
第17回 4月27日(日)

書写山
圓教寺

撮影前日

美術部・技術部さんは撮影の前々日に姫路へ入りました。

★車18台・馬6頭
(内訳)
マイクロバス4台、2トラック3台、4トラック2台、
乗用ワンボックス車4台、荷物用ワンボックス車5台。



参道は4WD車しか登れない為、わざわざ荷物を詰め替えて山上へ…。



一目でわかるように、箱には衣装の名前が書かれている。



支度場所に早変わりした圓教寺会館。

撮影当日



AM 4:00
書写山西坂から馬6頭の手綱を引いて、約2時間で山上に到着。



AM 5:00
役者さんたちも、5時発のロープウェイ(臨時便)で山上へ!



AM 6:30
着替えが終わり待合室で待つエキストラさん。劇団などに所属しているエキストラさんは自分で着替えられる方も。

大河ドラマの心臓部!?
ともいえる作り場



官兵衛の太刀



かつらや衣装は、すぐに付けられるように並べている。

美術部さん

匠のワザ集!

1578年を再現!

ロケ地まっぷ



QRコードを読み取って下さい。

(住所) 姫路市書写2986
(お問合せ先) 書写山圓教寺
079・266・3327



兵糧を乗せた荷車。



細部にまでこだわった軍略セット。



Before



食堂・常行堂内部の展示物を秀吉の陣幕で隠す。



案内表示やベンチは全て撤去し、動かせないものは、わらや木で隠していく。



After

時代衣装とセットで様変わり!!